

《 今日の主なニュース 》

～ 日経ニュースなどを中心に抜粋 ～

◆日経平均株価4万4000円超え、連日の最高値

・11日の東京株式市場で日経平均株価は続伸。終値は前日比534円(1.22%)高の4万4372円だった。連日で最高値を更新。米株式市場でオラクル株が連日急騰する中、投資計画で協力関係にあるソフトバンクグループ(SBG)に買いが集まり相場を急ピッチで押し上げた。米ハイテク株高が追い風となった。

◆大企業の7～9月景況感、2四半期ぶりプラス 7月関税合意後に調査

・内閣府と財務省が発表した7～9月期の法人企業景気予測調査によると、大企業全産業の景況判断指数(BSI)はプラス4.7だった。2四半期ぶりにプラスとなった。非製造業がプラス5.2とけん引した。7月の日米関税合意後の調査で、先行きの不透明感が緩和され一定程度改善したとみられる。

◆厚労省が中小企業の賃上げを支援「業務改善助成金」で対象拡充

・厚生労働省は賃金の引き上げに取り組む中小企業を支援する「業務改善助成金」の活用を促進する目的で、補助対象となる事業場の拡充や事前提出書類の簡略化を実施。事業場の最低賃金を引き上げと設備投資を行った中小企業を対象に、その費用の一部を助成する制度で、30万円から600万円を支給する。

《 業界ニュース 》

～ 日経ニュース・日刊工業新聞・新建ハウジングなどを中心に抜粋 ～

◆温暖化ガス排出削減目標、国・地域の8割未提出 COP30まで2カ月

・温暖化ガスの排出削減に向けた世界の動きが鈍い。国連の国際枠組みが義務付ける新たな削減目標は8割以上の国・地域が未提出のまま。トランプ米政権の発足などで脱炭素への機運がしぼんでいる。11月上旬にブラジルで開幕する第30回国連気候変動枠組み条約締約国会議(COP30)での議論が空転しかねない。

◆パナソニックコネク트가「カスハラ」相談できる社内AIを開発

・パナソニックホールディングス(HD)傘下のパナソニックコネク트는、カスタマーハラスメント(カスハラ)を受けた社員がチャット形式で相談できる生成AI(人工知能)を開発し、社内での展開を開始したと発表。対応例などが書かれたマニュアルを参照しながら、どのように対応すべきかをAIがアドバイスする。

◆日本製鉄の耐食性ステンレス鋼材、首里城の再建に一役

・日本製鉄は同社の建築構造用ステンレス鋼材が首里城正殿(那覇市)の再建工事に採用されたと発表。首里城の「唐破風屋根」の正面に据わる「龍頭棟飾」を固定し複雑な形状を内部で支える主要な下地鉄骨として日本製鉄のステンレス鋼材「SUS304A」が使われた。耐食性などに優れており、沖縄特有の海風による腐食への対策となる。

《 注目商品 》

■クリナップ、ステディアに天然木ワークトップ

・主カシステムキッチン「STEDIA(ステディア)」をリニューアルし、受注を開始。木質内装建材の朝日ウッドテックと共同開発した「天然木ワークトップ」を新たに採用。その他にも新アイテムやカラーを追加。オーク、ウォールナット、オークグレーの3色展開。



■三協立山・三協アルミ社、個別認定品取得の防災ロールスクリーン

・単体で個別防火認定を取得したロールスクリーン。室内側に取り付けすることで、防火地域や準防火地域の建物にも非防火窓を設置することができる。開口部に設置できる窓種が制限されないため、性能やデザインなど多様な選択が可能。



■TOTO、「レストパルF」「レストパル」デザインを刷新

・床から便器が浮いているフローティングデザインが特長の壁掛け型の「レストパルF」は、便器の側面に継ぎ目をなくし、滑らかな曲線のデザインに一新。掃除がしやすいフチなし形状の便器に進化。手洗器下の側面や配管カバーを同色で統一、一体感のあるトイレ空間を実現。

